

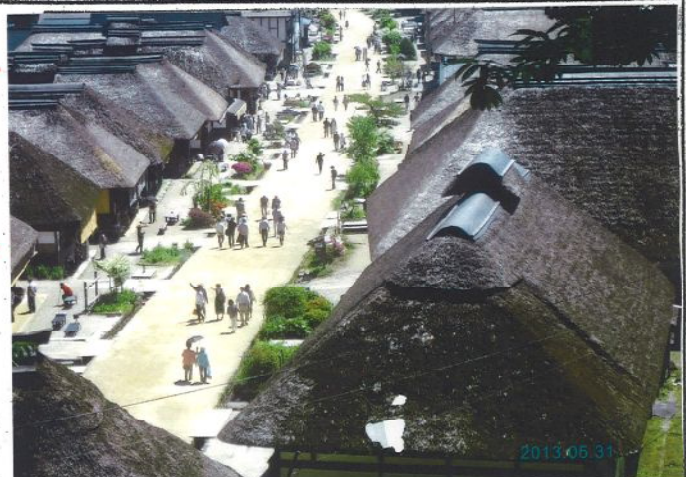
環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市波川町三丁目5番地7
(波川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



遙かなる時を
超えて



この会津西街道は、会津藩が参勤交代の際に利用した街道で全長三キロ。南で日光街道と連結する会津しほ最長距離の街道だった。大内宿は馬が休むための宿場として、別々の場所（国道一七号）が開通すると、街道を往々友へいた人馬は途絶え、以後この伝馬宿は急速に光を失って山奥の一寒村に落ちてしまったのである。現在でも第三セクターの最寄り駅湯野上温泉駅に出るには、車で十五分かかる。その南会津の寒村に観光客がドンドンと来るようになったのは、この十数年ぶりのこと。大内宿が昭和六十年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されたからである。重要伝統的建造物群保存地区とは、軒のあけや守りなどの伝統的な建築様式や歴史的背景のある敷地を周囲の環境を含めて丸ごと保存しようとする制度である。家の内部にまでは干渉しませんが、外側はせむせむの雰囲気を残してこれと合わせて、町並みを自治体は支援することになっている。大内宿もその例の一つである。

この会津西街道は、会津藩が参勤交代の際に利用した街道で全長三キロ。南で日光街道と連結する会津しほ最長距離の街道だった。大内宿は馬が休むための宿場として、別々の場所（国道一七号）が開通すると、街道を往々友へいた人馬は途絶え、以後この伝馬宿は急速に光を失って山奥の一寒村に落ちてしまったのである。現在でも第三セクターの最寄り駅湯野上温泉駅に出るには、車で十五分かかる。その南会津の寒村に観光客がドンドンと来るようになったのは、この十数年ぶりのこと。大内宿が昭和六十年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されたからである。重要伝統的建造物群保存地区とは、軒のあけや守りなどの伝統的な建築様式や歴史的背景のある敷地を周囲の環境を含めて丸ごと保存しようとする制度である。家の内部にまでは干渉しませんが、外側はせむせむの雰囲気を残してこれと合わせて、町並みを自治体は支援することになっている。大内宿もその例の一つである。



では寒村大内宿がどのよ
うな経緯を経て保存地区にな
ったのかと聞いて、これはどうも
なまなかけである。機会があれば

時代劇のセットではない。
驚くことに、おさんたちが
日常生活を営む民家である。

しまが話そう

客棟の
平屋で
縁側が
街道に
面して
家が
多い